

2023年5月10日(水)第二水曜祈祷会

創世記41章46～57節

『神の導きを覚えて仕える』

■創世記41章1～45節 『高く上げてくださる主』 *ヨセフは牢獄でさらに二年の年月が経つ…

- ①エジプトの王ファラオが不思議な夢を見、ヨセフが呼ばれ、その夢の解き明かしを行った。
- ②ヨセフはエジプト全土に七年間の大豊作と七年間の飢饉が訪れようとしていると言った。
- ③ファラオはヨセフに神の霊が宿っていることを認め、彼にエジプト全土を支配させた。

■創世記41章46～57節 『神の導きを覚えて仕える』

1. 七年の大豊作の備え(41章46～49節) *ヨセフは奴隷からエジプトの宰相になる

①ヨセフはエジプトに来て、何年目にファラオに仕えるようになりましたか。

→

②ヨセフはどのようにしてエジプト全土を巡ったのですか。

→

③ヨセフの仕事ぶりから、彼のどんな性格がわかりますか。

→

2. ヨセフの二人の子(41章50～52節) *「飢饉の年が来る前」も、偶然ではなく、神の配慮。

①ヨセフにエジプト人の妻が与えられ、二人の子が与えられたのは、何を意味していますか。

→

②ヨセフの子「マナセ」にはどんな意味がありますか。

→

③ヨセフの子「エフライム」にはどんな意味がありますか。

→

3. 七年の飢饉が始まる(41章53～57節) *ヨセフが告げたとおり飢饉が始まった。

①七年の飢饉はどのくらいの範囲に及びましたか。

→

②どうしてエジプトには食物があったのですか。

→

③神はヨセフを通してだれを救おうとしたのですか。

→

【適用と分かち合い】

①ヨセフにとって、エジプトに来てからの13年にはどんな意味がありましたか。

②二人の子が与えられたとき、ヨセフが特に強調しているのは何ですか。

③飢饉が全世界に及ぶ中で、どうしてヨセフは高ぶることがなかったのですか。